

計士風

会議で岡山市
を訪れ、国連
登録非政府組
織（NGO）
AMDA（ア
ジア医師連絡

協議会）代表菅波茂さん
の講演を聴いた。「世界
的な仕事をするためには
本部は東京でなく、地元
でいい」と力を込めて語
った▼岡山を本部に緊急
救援活動を始めて二十三
年。アジア、アフリカ、
中南米で戦乱、自然災害
で苦しむ人々に医師や看
護師らを急派する。合言
葉は「救える命があれば
どこへでも」だ▼内科医
菅波さんを動かしたのは
「弱者を助ける福祉に賛
同する岡山の精神風土」
だった。「困ったときは
お互いさま。相互扶助で
す。あなたを見放しませ
んよという連帯のメッセ
ージが大切」と説く▼い
ざ大災害となれば医療ス
タッフやボランティア、
医薬品を乗せて岡山空港
からチャーター機を飛ば
す。現地の医師らと力を
合わせて取り組むのもこ
の団体の特色だ。「援助
を受ける側にもプライド
があるのです」▼民間に
よる国際協力は岡山県に
限らず国内各地で多彩な
形で展開されている。国
籍、宗教、民族の違いを
超えて人々がきずなを強
めることは国家間の外交
に勝るとも劣らない。軍
事に頼らず平和を維持す
るためにも海外支援は大
切だ▼政府が手が回らな
い分野での社会貢献とい
う点で奥州市の岩淵宣輝
さんにもAMDAの菅波
さんと相通じる信念を感
じる。戦没者の遺骨帰還
活動に心血を注ぐ岩淵さ
んは今週、文化の日に岩
手日報文化賞を受ける。